

**DH SYSTEM**

大日本塗料株式会社

商品番号 184919

エポニックスH

1. 塗料名 超厚膜形エポキシ樹脂塗料
 2. 規格 鋼道路橋塗装用塗料標準 (2014)
 3. 特徴 1) 1回塗で厚膜が得られ、塗装作業性がすぐれている。
 2) 耐水性、耐海水性等の防食性にすぐれている。

4. 塗料性状

項 目		内 容			
容姿		2液性			
荷姿		5kgセット(主剤 2.5kg、硬化剤 2.5kg) 18kgセット(主剤 9.0kg、硬化剤 9.0kg)			
色相		N-7.0、N-8.5、黒、ブラック			
密度 (23℃)	塗料	1.57			
	揮発分	0.86			
粘度(23℃)		80~120 ポイズ (2号ローター)			
加熱残分		95%			
乾燥時間	温度	5℃	10℃	20℃	30℃
	指触	10時間	8時間	6時間	4時間
	半硬化	48時間	24時間	16時間	10時間
標準膜厚		150μm、300μm			
引火点		SDS参照			
発火点		SDS参照			
爆発限界(下限~上限)		SDS参照			

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

5. 塗装基準

項 目		内 容	
素地調整*		—	
調合法		主剤 50部、硬化剤 50部 (重量比)	
可使時間*		3時間以内 (20℃)	
温度・湿度制限*		温度：5℃以下、湿度：85RH%以上	
使用シンナー		エポニックス橋梁用シンナー及び同夏型	
塗 装 法	塗装方法*	刷毛、ローラー塗り	エアレス塗装
	希釈率	0~5%	5~10%以下
	標準使用量*	500g/m ²	1100g/m ²
	目標膜厚*	150μm	300μm
ウェット管理膜厚		200μm	400μm
エアレス塗装条件		1次圧 0.4MPa (4kg/cm ²) 以上、 2次圧 18MPa (180kg/cm ²) 以上 エアコンヒガン (チップ No. 1950~2460)	
塗装間隔* (20℃)	最小	1日	
	最大	10日	

注) *は「鋼道路橋防食便覧 塗装編」による。

6. 施工上の注意

- 被塗面の油・湿気・じんあい、水分、その他の有害な付着物は完全に除去する。
- 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分攪拌して均一な塗料状態にする。混合比を間違えると十分に塗膜性能を発揮しないばかりか、塗膜が硬化しないことがある。
- 主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使い尽くすこと。
- 希釈には、エポニックス橋梁用シンナー及び同夏型を使用する。
- スプレー塗装の場合、塗装機器はホップ比 45:1 以上のホップ型エアレスで塗料ホースは 3/8 インチ×30m 以下として下さい。

7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	指定可燃物	指定可燃物
有機溶剤区分	—	—
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

8. 使用上の注意【警告】

- 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。